

◎ 研究室の He 回収システムの点検結果について

第 8 3 号の「液化室だより」でお知らせしたように、回収率のアップをはかる一つの試みとして 5 月下旬から研究室の回収システムの点検・調査を行いました。その結果、きちんと管理している研究室がある反面、早急に改善を要する研究室もいくつかありました。

問題となったものとして、

- ① 接続部にホースバンドを使用していない（これが最も多い。初めはどんなにきついホースでも経年変化で劣化します）。
 - ② 柔らかいシリコン系チューブを使用しているため、途中で折れ曲がっている（見れば良くないと分かると思うのですが）。
 - ③ 分岐・段落としの個所にビニールテープを巻いているところがある（ビニールテープは暖かくなると粘性が弱くなりずれる）。
- 等がありました。

この他、ゴム栓でホースの先端部を塞いでいるのにそのゴム栓に穴が開いていた、など笑うに笑えないようなところもありました。

液化室では改善すべき項目をリストアップし、早急に改善するよう研究室に要請しますので要請を受けた研究室は早急に対処して下さい。

なお、改善がはかられたかどうか再度チェックしますので、予めご了承下さい。

He 容器は絶対に空にしないこと！

最近、He 容器の返却時に LHe がなくなっていたり、ときには常温になっっていることがあって非常に困っています。

特に常温になるとアウトガスによって断熱真空が悪くなり、LHe の充填ができなくなります。こうなると真空引きや予冷をしなければならず、かなり手間がかかります。しかも再使用できるまで 2 週間近くかかります。また容器もヒートサイクルを繰り返すことになり、故障の原因にもなりかねません。したがって容器は絶対に空にしないで下さい。

万一、このような事態になった場合は原則としてその研究室で真空引きや、予冷等を行っていただくこととなりますので充分ご注意下さい。

科研費等による LHe の利用

申込締切は 6 月 29 日です。

